

# 災害リスク情報の3D表示

**課題** ハザードマップ等の災害リスク情報について、誰もが直観的・空間的・具体的なイメージを得られるようなわかりやすい情報として提供することが必要。

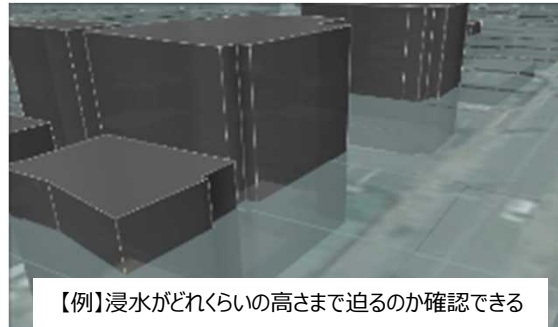
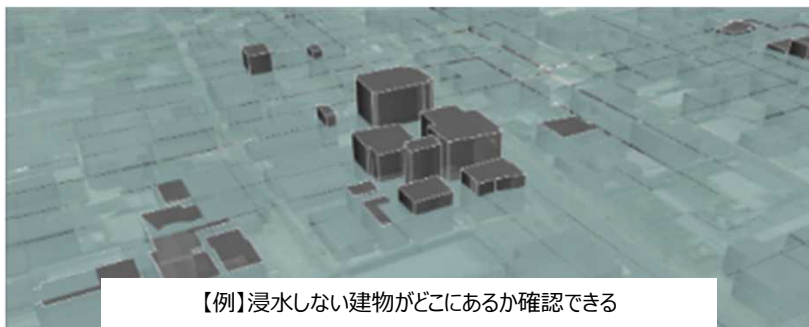
**対応** 浸水のリスク等をより視覚的にわかりやすく発信するため、洪水浸水想定区域等の災害リスク情報を地図に重ねて表示できるデータとして整備（GISデータ化）し、建物の高さ等の土地利用情報をかけあわせ、地図上に3D表示。

今年度、国直轄管理河川流域等の30～40都市において、モデル的に先行実施

洪水浸水想定区域等の  
災害リスク情報のGISデータ化

建物の高さ等の  
土地利用情報

## 3D表示の例と利活用イメージ



### 国・自治体による利活用

- 安全な場所への避難計画の策定
- 避難路・避難施設等の整備・検討

### 民間事業者による利活用

- 災害リスクを踏まえた地盤かさ上げ等の宅地開発
- 不動産取引の相手方への災害リスク情報の提供

### 住民による利活用

- 居住地に関する災害リスクの認知
- 自宅から逃げ込める場所（高い建物など）までの避難経路の把握